ハピカム ミライデザイン会議

津久見市

鉱工業

Mining and Manufacturing

天然の資源と良港に恵まれ、石灰、セメント工業が発達している津久見市。市の基幹産業にさまざまな立場から関わっている４人が、経済の専門家を交え、鉱工業の現状と今後について語り合った。特色ある基幹産業を抜きにしては観光振興やまちづくりも語れない。鉱工業が津久見の未来を引っ張っていく。

石灰使い成長分野に進出を

しっくい生産続けたい

友永　人口推計を見ると、現在2万人を割った津久見市の人口は2035年には4000人以上減り、高齢者が4割という予想になっています。自己紹介と併せて、このままいくと20年後の津久見はどうなっているかというイメージを聞かせてください。

鳥越　丸京石灰はしっくいを造っている県内唯一の企業。しっくいを造っている地域も、国内では栃木県佐野市、高知県、福岡県田川市と津久見市の4カ所だけしかありません。しっくいが津久見の産物として20年後も続いてほしい。少子高齢化が進んでも、みんなが帰ってきてホッとできるまちになっていればいいと思います。

若手リーダー
お石灰探偵団
加茂恵介 さん

加茂　ミカン畑にある「みかん小屋」の写真を撮って発表しています。小屋は地元の石灰造り。20年後、今より人口が少なくなればごみも少なくなり、環境が良くなっているかもしれません。いい方向に進むんじゃないでしょうか。

川野　私は県内の経済や産業などを調査したり、自治体のまちづくりの手伝いをしたりしています。今は大学と共同で県内の長寿企業の動向を研究していますが、丸京石灰も古手川産業も100年以上続く企業ですね。

「かきくけこ」キーワード

田中　古手川産業は生石灰や消石灰、グループ会社ではそれらを炭酸化して軽質炭酸カルシウムを作っています。石灰を利用した商品開発にチャレンジしており、より少量で高付加価値の商品を作れないかと研究しています。20年後、資源の量は減り、採掘場所も山奥に入っていくので船を使って運び出す津久見は不利になるでしょう。でも高付加価値の商品ができていれば「世界の津久見」になっているはず。その可能性はあります。

若手リーダー
津久見市まちづくり推進課主任
小野健司 さん

小野　20年後には自治体の枠組みがどうなっているのか分かりません。その中で津久見が残っていくためには今のうちに地域らしさを意識して考えていく必要があると思います。私が大学を出て津久見に帰ってきたのは、津久見が好きだからです。これから高齢者が増えれば医療などいろんな面で費用が掛かってきますが、高齢化率が進んでも住みよいまちならいいと思います。そのための地域づくりが必要だと思います。

友永　石灰石自体は、今のペースでいけば100年後ぐらいまでは採掘できるという話があります。田中さんはその石灰石をさらに進化させる研究に取り組んでいますが、石灰石に付加価値を付ける研究は今後まだまだ進展する可能性がありますか。

田中　セメントなどスケールが大きな物を大量に売るというのが国内の業界の現状です。付加価値を付けようという企業はあまりなく、今研究している炭酸カルシウムになると意外と研究されていません。津久見では昭和60年代、石灰に関わる企業が十数社で組織をつくり、高付加価値化の研究をしていました。今そういう活動がないのは残念です。

川野　これから伸びていく成長分野のキーワードは「かきくけこ」といわれています。「か」は環境・エネルギー、「き」は教育産業、「く」が暮らし・安全、「け」が健康、「こ」がコンテンツ・高齢化。石灰で日本一の津久見になるために、そういった成長分野をやっていくのも方向性としてあります。

消費者に近いところで

田中　石灰は“川上”の産業。ユーザーは主に製造業で一般消費者が買うものではありません。生き残っていくためにはもっと“川下”の消費者に近いところに向けて付加価値を付け、成長分野に進出していかなければと思います。軽質炭酸カルシウムは“ミクロン”のレベルでサイズや形をそろえたりすることによって、さまざまな機能性を付与できるようになり、いろんな業種から問い合わせがきています。

川野　石灰はローテクからハイテクまで幅広い分野で使われています。先端技術では電子部品やレンズ、医療では人工骨や歯、化学ではガラス、紙、パルプ、建材ではセメント、しっくい、食品ではこんにゃく、ガム、ソーセージ、農畜産業では肥料、消毒など。健康分野なども新しく開拓できるのではないでしょうか。

加茂　鳥インフルエンザの防疫や消毒でも石灰がまかれますね。

若手リーダー
日本漆喰協会幹事長（丸京石灰）
鳥越宣宏 さん

鳥越　ウイルスの細胞を死滅させる作用があります。酸でもアルカリでも、酢でもアルコールでも何でもいいのですが、一番安く、大量に用意できるアルカリということで使われています。

友永　石灰産業の裾野としては運送業などもあります。鉱工業を中心とした関連産業の幅をもっと広げるために、研究や基礎的な部分での産学官の連携など外の声をうまく生かせる取り組みもあっていいのではないですか。

小野　今後の取り組みです。そういう連携をして共通認識を持つのは重要だと思います。

鳥越　そうやって雇用が生まれればいいというのが市の考えですが、企業が最初に考えるのは省力化。今は基本的に全てオートメーションでやっていて、高付加価値なものを考えたところに数百人の雇用が生まれるかというと難しいでしょう。

生かしたい産学官連携

川野　でも産学官の連携による研究は商品の高付加価値化だけでなく、企業の高効率化につながるかもしれません。

若手リーダー
石灰開発研究員（古手川産業）
田中友和 さん

田中　世界ブランドの化粧品の中に、炭酸カルシウムの形状を制御した物を入れて機能を持たせている商品があります。昔からやってきた研究が花開いているので、今のうちから業界で新しいものを開拓し、理解してもらうことが大切です。

友永　そうやって企業や消費者の間に「質の高い石灰の産地として有名な津久見が作る商品なら間違いない」というイメージができればいいですね。

鳥越　しかし、津久見の山で採れた石灰からできたセメントで東京に高層ビルが建っても、そこには自動車メーカーのエンブレムのように、津久見のマークは付きません。

小野　津久見の人もいろんなものに使われているという認識はなかなかないと思います。

川野　もっと川下に近い分野なら「津久見の○○」、「メードイン津久見」という言い方ができるんじゃないでしょうか。もう少し、商品を通したブランド化に取り組んでもいいと思います。

友永　産学官の連携はどうなっていますか。昭和60年代にあった共同の研究機関には行政も関わっていたようですが。

小野　観光でも鉱工業でもいろんな分野で行政は大学などと協定を結んでいますから、それを生かしていきたいですね。

フレスコ画制作、前面に

友永　ブランド化という点で丸京石灰はかなり頑張っていますね。

鳥越　広く売って薄く利益を集める企業なので、評判を上げるためにはブランド化が重要。戦略として「大事な仕事のときには必ず津久見の丸京を使う」など実際に使っている人の声を前面に打ち出しています。

アドバイザー
大銀経済経営研究所主席研究員
川野恭輔 さん

川野　市内中心部にある「セメント町」という地名は津久見市と山口県山陽小野田市の２市にしかありません。このような今ある財産をうまくＰＲできていないようです。江戸時代から石灰で栄えた栃木県佐野市は、地元で取れる石灰を原料に2000年ぐらいからフレスコ画を作成し、まちを彩っています。

鳥越　大分県石灰工業会も夏休みに市内で子ども向けのフレスコ画教室を開いています。つくみイルカ島でもフレスコ画を制作します。

川野　そういう取り組みをもっと前面に出しましょう。

小野　津久見まぐろ研究会がしっくいを使って飲食店の表札などを作っていますが、ああいう取り組みが第一歩だと思います。

友永　イルカ島にやって来た観光客を市内に回遊させる仕掛けを考える必要があります。工場群などの景観も観光資源。業界で集まって戦略的に何かできませんか。安全の問題はあるけれど、石灰の採掘現場を見たいという声もあるようです。

鉱工業も観光の資源に

小野　年１回のふるさと振興祭の鉱山見学には応募が殺到します。昨年実施した工場群の夜景が楽しめる津久見湾のナイトクルーズも好評でした。

加茂　ナイトクルーズはいけると思いますよ。

川野　石灰の採掘が終わり、階段状の山肌が間近に迫る津久見インターチェンジ、道路の上にベルトコンベヤーが通っている風景も非日常的で面白い。午前11時45分にドーンと発破の音が響くのも独特。そういうところを磨き直し、フレスコ画のまちを散策できるようにしたり、産業観光ができるようにすると互いの産業が相乗効果を生みます。

鳥越　石灰を搬出した所には土地ができます。インターチェンジ周辺にもまだ遊休地があるので企業誘致もできます。搬出跡地をまちづくりに生かしてはどうでしょう。

小野　市内には平地が少ないので、跡地の有効活用は大きな課題です。

友永　津久見は鉱工業があって今は豊かなのかもしれませんが、これから先もそれでいけるでしょうか。鉱工業を中心とした観光分野との連携がまちづくりに反映されていくべきだと思います。

川野　外部の視点をうまく活用することが大切。産学官の連携は観光だけじゃなく新技術、新市場開拓などにも使えます。

田中　今までは各企業が独自で頑張ってきた部分があって、それを津久見全体でやろうとなると、自社で培ってきた技術をある程度オープンにしなければなりません。そこができるかどうかですが、本当に危機感が高まればやれるんじゃないでしょうか。

鳥越　例えば「古手川産業にこういう技術がある。こういう技術と組んでくれる企業はいませんか」と市が発信するなど、まちぐるみで盛り立てるのも一つだと思います。観光誘致でも企業誘致でもなく「提携誘致」をやるんです。

みかん小屋風景「桃源郷」

友永　市内にはしっくいやセメント、石灰を生かした文化が育まれていません。外部の人間が津久見に来ても感じることができないんです。その中でみかん小屋は一つの文化だと思います。

加茂　市内で現在残っているのは200棟ぐらいですが、実際にミカンの貯蔵用として使われているのは2棟しか知りません。

友永　そういう物を生かしていこうという意識をそろそろ出していくべきです。

加茂　みかん小屋は商品にならない石灰をもらって造るので、地元の人はあまりいいものとは思っていません。でも日本中から美術館長や大学教授、建築家らが見に来て、「ここは桃源郷だ」という人もいるし、「イタリアや南フランスに来たみたい」という人もいます。コアな津久見ファンになって帰っていくんです。20年後に残っていたらすごい文化財になっていますよ。

コーディネーター
大分合同新聞記者
友永敬介

友永　現在はまだ市民と工場、地域と産業がうまく融合されていないように思います。まちづくりの視点から、その距離を縮めていくことも大事ではないでしょうか。

小野　そのためにも、大人もそうですが、子どもたちに「自分たちのふるさとにこんなに素晴らしいものがある」ということを教えていくことが重要だと思います。

伝統的なものは残して

友永　最初に20年後をイメージしてもらいましたが、今までの議論を踏まえて、20年後はどんなまちになっていると思いますか。

小野　やはり20年後もセメント、石灰が基幹産業であってほしいですね。石灰について研究している人や、昔ながらの技術を生かしている人が20年後も活躍している津久見であってほしい。それが続いているなら、人口が減って高齢化が進んでいても決して悪いまちにはなっていないはずです。

田中　伝統的なものは絶対に残し、新たな物の発祥地にもなって、二つが融合して石灰の産業が伸びていれば、きっと津久見は住みよいまちになっていると思います。

川野　伝統の継承と革新をうまくやっているのが長寿企業の特徴。まちづくりにも同じようなところがありますね。

加茂　石灰は世界中でいろいろな使われ方をしてきましたが、今では昔の使われ方が次世代に伝わらなくなっています。業界の人には昔の当たり前の使い方をしっかり次に伝えてほしいと思います。

鳥越　昔から津久見は商売の目端が利くまちでした。シイタケと茶で経済成長の階段を上がり、その踊り場からさらにミカンで上がって、石灰でまた上がった。今は何回目かの踊り場にいます。次は石灰でいくのか観光でいくのか、踊り場にいる間にみんなで考え、それが消えないようにしないといけません。今は市外に出ている同級生もいずれ帰って来られるような町にするのが、われわれ鉱工業の役割だと思います。

友永　産業とまちづくりと観光は離れられない三角形。この三つが三本の矢となって進めるようなまちづくりが重要です。行政にはみんなで話し合えるつながりや縁をつくってほしい。それぞれが危機感をもってやっていけば津久見の未来は必ず開けます。

手のひらに、明日をのせて。
NTT docomo

「スマートフォン&タブレット」で、ビジネスに新しい流れを。

感謝をこめて。20th

営業先への電話も、「Xiトーク24」でドコモ内の国内通話が24時間定額！

すばやい起動で、資料のチェックやスケジュール管理がいつでもカンタン！

2つのXi（クロッシィ）で、ビジネスシーンをかしこく乗りきろう。

Xiスマートフォンと、Xiタブレット（もしくはXiモバイルWi-Fiルーターなど）をセットでご利用いただくと、基本使用料がおトクに！ お申込み必要

Xi² 割 キャンペーン

お申込み期間 2013年3月31日（日）まで

Xi スマートフォン
料金プラン ＋ パケット定額サービス（Xiパケ・ホーダイ フラット）

＋

Xi タブレット

フラットプランだから使いホーダイ*1！

Xiデータプラン フラット にねん*2なら 基本使用料が

お申込み月から25か月まで	26か月目以降も
月々5,985円 ▼ 月々2,980円	ずっと 月々3,980円

または

Xi モバイルWi-Fiルーターも選べます！
ご利用料金など詳しくは、「ドコモのホームページ」をご確認ください。

【対　象】 Xiスマートフォンと2台目のXiタブレットやXi対応データ通信専用機種などのご名義が同一で、かつ以下の条件を満たし、本キャンペーンをお申込みいただいたお客さま。
【適用条件】 当社指定のパケット定額サービス（「Xiパケ・ホーダイ フラット」）にご加入、かつXiデータ通信専用プラン（「Xiデータプラン フラット にねん」「Xiデータプラン フラット」）のいずれかにご加入のお客さま。
【適用期間】 適用条件を満たしている期間。

※Xiタブレット以外の機種をご利用の場合（お申込み当月のご利用分含む）、定額料は「Xiデータプラン フラット にねん：3,980円／月」、「Xiデータプラン フラット：5,450円／月」になります。
※「mopera U」「spモード」など本プラン対応プロバイダへのお申込みおよび月額使用料が必要です。
＊1 当月ご利用のデータ量が7GBを超えた場合、当月末まで通信速度が送受信時最大128kbpsになります（2012年9月30日までは、当月ご利用のデータ量が7GB以降も通信速度が送受信時最大128kbpsになりません）。なお、2012年10月以降は別途お申込み（7GB超過後2GBごとに2,625円）をいただくことで、受信時最大75Mbps、送信時最大25Mbps（Xiエリアの一部に限ります。）でご利用いただけます。国際ローミング中のデータ通信料などは、Xiデータ通信専用プランの適用対象外です。
＊2「Xiデータプラン フラット にねん」は、契約期間2年単位で自動更新、更新後を含み途中解約金9,975円（※契約満了月の翌月除く）がかかります。

【『「Xi²割」キャンペーン』に関するご注意】●適用対象外になった場合、当該月以降のご利用料金には『「Xi²割」キャンペーン』は適用されません。●『「Xi²割」キャンペーン』は、お客さま指定の代表回線（音声通話が可能なXi料金プランの回線に限ります）および対象回線（対象機種を利用される回線を指定いただきます）の組み合わせにおいて、対象回線のご利用料金を割引するサービスです。なお、1つの代表回線に対し、複数の対象回線を組み合わせることはできません。また、代表回線から対象回線へまたは対象回線から代表回線への変更はいずれもできません。●次の場合、『「Xi²割」キャンペーン』の割引は終了となります。代表回線もしくは対象回線について解約または電話番号保管がなされた場合、代表回線の料金プランを音声通話が利用可能なXi料金プラン以外へ変更された場合、代表回線と対象回線が同一の名義でなくなった場合、当社指定のパケット定額サービスの廃止、または指定外のパケット定額サービスもしくはXiデータ通信専用プランへの変更をお申込みされた場合、代表回線もしくは対象回線について、XiからFOMAへ契約変更された場合。

詳しくは、ドコモのお店または Xi2割 検索 ※表記の金額は全て税込です。※画面はイメージです。※2012年3月15日現在

お問い合わせ ドコモの携帯電話からは局番なしの151（無料） 一般電話などからは 0120-800-000 受付時間 午前9:00～午後8:00（年中無休）
※番号をよくお確かめのうえ、おかけください。※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
モバイル・リサイクル・ネットワーク 携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。
つたわるフォント を使用しています